

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】（小学校用）

都道府県名	埼玉県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	埼玉県八潮市立八條北小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	1	2	1	1	1	0	8	13
児童数	41	25	42	36	39	35	0	218	

研究の概要

1. 研究主題

<p>生き生きと学ぶ心豊かな児童の育成 ～国語・算数の基礎・基本を確実に身につける指導法の改善～</p>
--

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

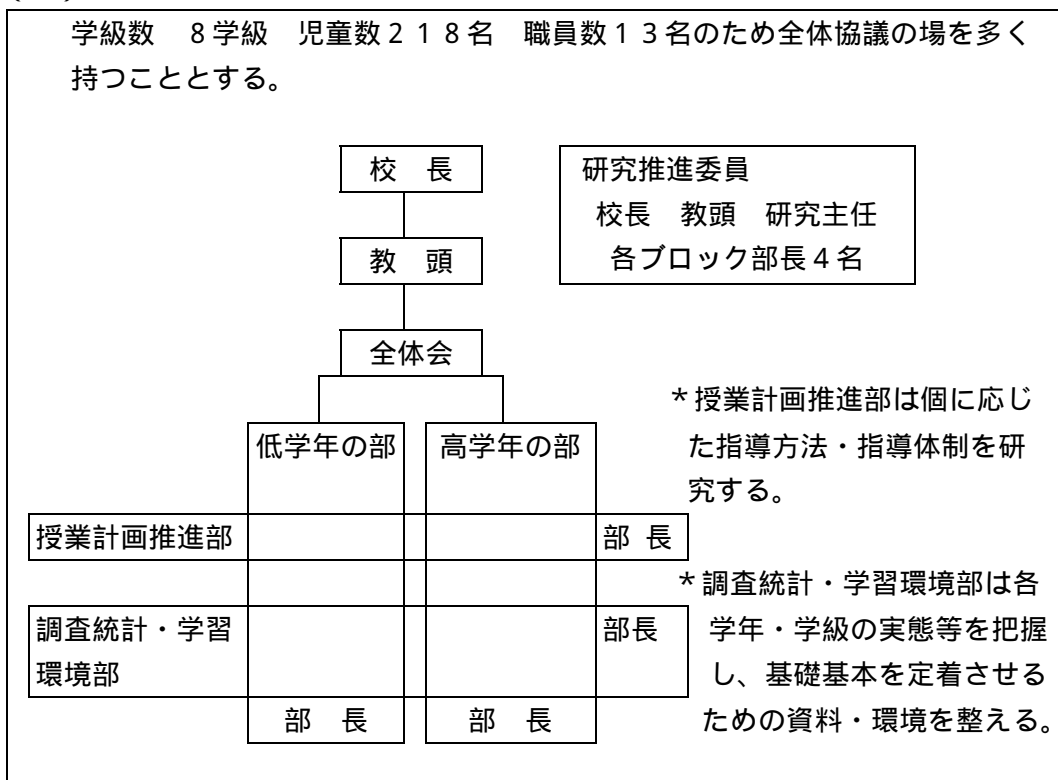
<p>* 全学年実施</p> <p>* 教科・・・国語・算数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国語 昨年度国語の研修を実施し、研究実績があるため継続し、さらに深める。 ・ 算数 児童の実態調査の結果や保護者の願いの調査から、児童の苦手意識が顕著にあらわれるため 教科の枠を広げ、研究に取り組む。 <p><保護者が子どもにつけてほしい力はなんですか・・・平成15.1月 ></p> <ul style="list-style-type: none"> * 友だちとかかわること * やさしさを身につけること * 相手を思いやること * 読み書き計算の基本的な学力をつけること * 体力をつけること * 自分で考え判断する力をつけること * 自分を表現する力を身につけること * 自分を高めていこうとする向上心を身につけること * 礼儀を身につけること
--

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 1年次～小規模校における国語・算数科の少人数指導 2年次～少人数指導における指導法の改善 研究の内容・方法</p> <p>* 主題設定の理由 平成14年度から実施の学習指導要領においては、基礎基本の着実な定着と自ら学び自ら考えるなどの「生きる力」を育成することをねらいとした確かな学力と心の教育の充実を図ることが求められている。</p> <p>本校は昨年度より、国語科を中心として研修し「自分の思いを豊かに表現できる子」の育成に向けて取り組んできた。その結果、自分で判断し、自分の考えを自分らしく表現できる子どもは増えつつある。しかし、学校生活全体を通じて言語環境を整え、子どもの言語活動が適性に行われているかはまだまだ課題が残る。そこで、今年度は特に音声言語の指導において発音・発声に関する指導や文字指導を中心とした国語学習の基礎基本を重点的に取り組んでいきたい。また、算数の問題解決学習等を取り入れ、自ら解決していく過程を重視しながら、少人数指導等、指導方法を工夫・改善することによって子ども一人一人に基礎基本を身につけさせ、きめ細やかな指導を通して確かな学力をつけるため本主題を設定した。</p> <p>* 研究の方針 教師が児童一人一人を大切にし、学習意欲を高めるため『目をかけ』『声をかけ』『手をかけ』の三かけの教育を推進し研究主題に迫る。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 確かな学力の向上のため、児童一人一人の実態を把握し、きめ細やかな指導の充実を目指し少人数授業・習熟度別授業を実施する。・ 児童の実態把握の基礎資料とするため2～6年生の国語・算数科の学力検査を実施し、個々の実態に応じた指導法の工夫・改善を図る。・ 毎時間の評価を蓄積し、評価についての研修を深める。 <p>* 研究の内容 国語、算数における児童一人一人の理解や習熟の程度の状況を把握し、「わかる喜び」「できる喜び」など成就感を味わわせる個に応じた指導を行い、自ら学び自ら考える力など学び方学習を着実に身につけ確かな学力の向上をめざす。</p> <p>第1学年はTTによる授業を実施し、文字の書き方、言葉の発音や発声、数の概念等、基礎基本を確実に身に付けることができるよう、実態に応じたきめ細やかな指導の充実を図る。</p> <p>第2学年より学年や学級を2～3の少人数グループに編成し、個に応じたきめ細やかな指導を行う。</p> <p>児童の学習状況によって、習熟の程度に差が生じやすい単元については習熟度別指導を取入れ、繰り返し指導や発展的な学習の場面を設定する。</p>
--------	--

	<p>教材の特性や単元に応じて、指導方法および指導形態の工夫改善を図るため、研究授業を実施する。</p> <p>保護者や地域に学校の取り組みを紹介し、学校公開日等に授業参観を行い、新しい学習スタイルの流れを三者で考え、これからの児童に託される『生きる力』をともに考える機会をもつ。</p>
平成16年度	<p>テーマ</p> <p>少人数指導における指導法の改善</p> <p>研究の見通し</p> <p>15年度の研究の蓄積を基に、少人数指導が実施できる指導体制を再考し児童の実態に応じたきめ細かな支援を行う。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>学年1学級を基本とした小規模校であるため、日課表を工夫することで基礎基本が確実に習得でき、年間を通じて、学年に少人数指導ができる年間指導計画を作成する。</p> <p>算数科における個人カルテを有効活用し、児童一人一人に「わかる喜び」「できた喜び」が体得でき「算数好きな児童」を目指す。</p> <p>授業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回の研究授業。 ・近隣の小中学校に授業公開する。 ・学校公開日を設定し、少人数指導（習熟度別指導）を公開することで保護者への理解を深める。

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

- (1) 研究全体をとおり、目をかける、声をかける、手をかけるの三かけの教育の推進を図り、児童との信頼関係を築き、心が通い合うようになってきた。
- (2) 学力テスト、レディネステスト、アンケート等をとおり、個を知ることができ、結果を指導計画に反映させることができた。
- (3) 評価活動をする中で、個人カルテの必要性を感じ、工夫して作り上げることができた。
- (4) 確かな学力向上のため、指導方法の改善を目指し、計画的に外部講師を招聘して研究授業を行い、少人数指導、習熟度別指導などの個に応じたきめ細かな指導法の工夫改善に努めることができた。
- (5) 本研究をとおり、教職員間のコミュニケーションが深まり、共通理解、共通行動、協力体制が確かなものになった。

2. 今後の課題

- (1) きめ細かな指導を行うために、個人カルテの活用には課題を残す。今後有効活用を図り、一人一人にあった指導法の工夫改善に努める。
- (2) 習熟度別学習等においては、学習活動について、保護者の理解を十分得て、学習活動に家庭の協力が得られるようにする。
- (3) 研究内容について、市内他校、他地域との情報交換が充分とは言えない面があった。情報収集とその活用を図る。また、2年次は本校の研究の成果を微力ではあるが、他へ発信していきたい。
- (4) 学習指導、評価活動記録の整理、保存を行い、校内の連携を一層密にする。
- (5) 学力向上フロンティアスクールにふさわしい、確かな学力向上のため、学習意欲のわく学級、校内の環境整備に努める。

学力等把握のための学校としての取組

(1) 学力検査

2～6年生まで、年一回実施

実施教科・・・国語・算数

実施時期・・・6月に児童の学習状況を把握し、次年度同時期に行う。

調査の目的・・・本校児童の学習状況を知り、指導方法を改善することで一人一人の変容を確かめ、きめ細かな指導に生かすため。

(2) 学習に関する意識調査

全学年の児童・保護者

実施時期・・・2学期

調査の目的・・・学力向上にむけて、学習環境や自ら学ぶ意欲は学校、家庭との連携は欠くことできない。学習習慣の確立のため定期的に調査をする。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

今年度の研究会については以下の通りである。

- ・第1回授業研究会 7月 1日 国語 第6学年1学級2コース
「相手の意見を聞き取り、自分の主張を伝えよう」 少人数指導・TTによる指導
- ・近隣校合同研修会 7月23日 算数 算数の基礎基本について
- ・第2回授業研究会 10月 1日 国語 第2学年1学級2コース
「話し方を工夫して発表しよう」 少人数指導・TTによる指導
- ・第3回授業研究会 11月21日 算数 第3学年2学級3コース
「かけ算のしかたを考えよう」 少人数指導
- ・第4回授業研究会 12月 4日 算数 第4学年・・・近隣に公開
「計算のやくそくを調べよう」 1学級2コース・習熟度別指導
- ・第5回授業研究会 1月30日 道徳 第1学年
- ・第6回授業研究会 2月 3日 算数 第5学年・・・近隣に公開
「円をくわしく調べよう」 1学級2コース・習熟度別指導
- ・第7回授業研究会 2月23日実施予定 国語 第1学年2学級
「かみしばいをつくろう」 T・Tによる指導

研究授業時には指導者を招聘し、指導方法の改善について指導を受けた。指導を受けたこと基に近隣校に授業公開することで地域に広めた。また、教科で身につけた力を教育活動に反映させるため音読集会・縦割り活動等全校活動をとおりして外部公開の授業研究会で実施した。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】	<input checked="" type="checkbox"/> 15年度からの新規校	<input type="checkbox"/> 14年度からの継続校		
【学校規模】	<input type="checkbox"/> 6学級以下 <input type="checkbox"/> 13～18学級 <input type="checkbox"/> 25学級以上	<input checked="" type="checkbox"/> 7～12学級 <input type="checkbox"/> 19～24学級		
【指導体制】	<input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導 一部教科担任制	<input type="checkbox"/> T・Tによる指導 その他		
【研究教科】	<input checked="" type="checkbox"/> 国語 生活 体育	<input type="checkbox"/> 社会 音楽 その他	<input checked="" type="checkbox"/> 算数 図画工作	<input type="checkbox"/> 理科 家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無		